

ヒーローなんていない！みんなの力！

河淳株式会社

(建築装飾金物製造他／日光市)

【雇用障害者数】16.5名

事務を担当するAさん(精神障害(統合失調症・幻聴))について、流通業務部今市テクニカルセンターの渡辺センター長と購買第二チームの柳橋チーフにお伺いしました。



【採用・雇用のきっかけ】

ハローワークに求人票を提出し、応募者を募りました。以前から障害者は在職していますが、昨今、身体障害者からの応募は少ない傾向にあり、精神障害者も含めた雇用を考えました。

【雇用にあたっての取組】

● アプローチ1 社内への理解、周知の方法について

職業センターの方を招いて従業員全員で研修を行い、精神障害、統合失調症の特徴、Aさん個人の症状や特性等を説明、統合失調症についてのパンフレットを配布しました。



● アプローチ2 職務内容

ハローワーク求人票には職種を「事務職」としており、最初はFAX操作のみでしたが、その後徐々にこなせる仕事も増えてきています。

● アプローチ3 支援機関とのつながり

研修をお願いした職業センターと、Aさんが登録をしている「障害者就業・生活支援センター」の支援員と連携をとっています。他の障害者も支援員の勧めで交換日記(就業報告)など行っています。支援機関との連携によって、障害者についての理解を深めることができました。

【現状と今後の課題】

震災の時の経験から、従業員全員の安全確保のため、非常時の役割分担など確立していかなければならないと考えています。

また、Aさん採用時に実施した研修から5年が経過しているため、研修を受けていない人や忘れていた人のために、もう一度研修を行う時期を検討しています。

【Aさん（30代男性）へのインタビュー】

Q. 現在はどんな仕事をしていますか？

A. 主に受発注業務です。

社内より発注依頼を受け、適切な業者に発注を行います。

この業務は特注品の対応が主で、図面を見て材質、発注業者の選定など、細かい配慮と知識を必要とする作業です。



Q. 現在の仕事はどうですか？

A. 自分にとって難しい処理（業務）と感じています。

分からないことは直ぐに聞き対応するなど、今はまだ覚えている最中です。この業務は、FAXでのやり取りが多く、必然的にコピー用紙の消費量も多くなります。コピー用紙を事前に補充するなど準備を怠らず、少しでも処理、判断を誤らないよう気をつけています。

Q. 今の職場はどうですか？

A. 従業員の方の理解を得るため、障害についての研修会を行ってもらい、皆さんが障害を理解されたことで差別などもなく、この環境に非常に感謝しています。

障害者雇用を積極的に行う企業は他にもあると思いますが、人事部門（採用部署）だけでなく、障害者が実際に働く部署のメンバーが理解をしていなければ、その企業は障害者について理解をしていないのと同じだと思います。今は、「良い職場」であり、「良い縁に恵まれた」と思っています。

Q. 将来の目標はありますか？

A. 仕事も含め、色々な面で自己成長したいと思っています。

この病気を発病して、10年間、「引きこもり」となっていました。普通より遅れていることは仕方ないので、これから追いつけるように頑張りたいです。



現在も幻聴の症状は続いているようですが、人事担当者によれば、その症状がありながらも仕事上での間違いはなく、業務を遂行する正確さにおいては優れていると評価されているようです。

毎年11月が繁忙期ですが、その中でも去年は特に忙しく、その時期を乗り越えられたことで仕事に対しての心配はない、と上司は勿論のこと、職場のメンバーとも信頼関係が出来上がっています。

【取材を終えて～取材担当者コラム】

取材時のAさんは対応も明るく、精神的にも安定しているようでした。Aさんはこの症状をコントロールし、10年間の空白を取り戻すため頑張っている姿が印象的でした。

今回職場定着につながっているのは、企業側の事前の準備、従業員の積極的な理解、そしてAさん本人の努力。これらすべての積重ねの成果であると思われま

